

2020年10月13日
理化学研究所
サントリー酒類株式会社
凸版印刷株式会社

飲食店における新型コロナウイルス感染症拡大防止の 協働取り組みについて

理化学研究所(本部:埼玉県和光市、理事長:松本 紘、以下 理研)と、サントリー酒類株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山田 賢治、以下 サントリー酒類)、凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:麿 秀晴、以下 凸版印刷)は、飲食店における新型コロナウイルス感染症拡大防止に協働して取り組みます。

新型コロナウイルス感染症においては、感染拡大防止と経済活動の両立が課題となっており、特に飲食店における感染拡大防止は、日本のみならず世界においても重要な課題です。

理研では、2021年度の共用開始を目指し開発・整備を進めるスーパーコンピュータ「富岳(ふがく)」を用いて「室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策」について研究開発を実施しています。今回、その研究成果の一部を活用し、サントリー酒類と凸版印刷は、フェイスシールドの開発、飲食店での実証実験を行います。開発するフェイスシールドの設計情報はオープンデータ化し、広く社会に貢献していくことを目指します。

本取り組みは、Society5.0の時代に強く求められる、「富岳」を活用した科学的知見をもとに、企業が実効性ある対策を実施するものであり、三者で力をあわせ新型コロナウイルス感染症の克服に貢献します。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上